

## 一 2009 年度前期授業アンケート結果の概要

### 1 2009 年度の実施趣旨と従来との変更点

#### 【授業アンケート実施目的】

- (1) 科目担当者が個別に授業改善を行うための資料、また教育自己点検活動のための資料を得る。
- (2) 教員相互に、関係科目の改善について課題を共有し改善を行う資料とする。また、アンケート結果を起点として組織的に教育改善に取り組む機会を提供する。
- (3) 授業運営の学生参画の必要性を意識し、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るための資料を得る。また、学生の積極性と責任意識を喚起する機会を提供する。
- (4) 学部・学科としてのカリキュラム改善のための資料を得る。
- (5) 大学全体として教育力の向上に必要な点検資料を得る。

#### 【2009 年度変更点】

授業アンケート用紙の記載事項を一部変更した。

- |         |  |
|---------|--|
| ①学科等    | 「文化政策（1 回生は都市環境デザイン）」<br>→ 「文化政策（1・2 回生は都市環境デザイン）」 |
| ②コース・専攻 | 文化財 3：修復・史跡整備 を削除（コース該当学生 卒業のため）                   |

### 2 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は 2009 年度前期開講、通年開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生および大学院生とし、原則として特別聴講学生、科目等履修生は対象外としたが、担当教員の判断で特別聴講学生および科目等履修生のデータが一部算入されている場合がある。

### 3 調査期間

調査期間は 2009 年 7 月 2 日（木）から 7 月 29 日（水）まで。

アンケートは授業時間を 15 分ほど利用し、学生が選択式の回答と自由記述が可能な時間を保証した。教員が配布と説明をおこない、その時間内に回収する集合調査法を採用した。

\*2009 年度前期の回収率は全体で 77.72% となった。

（参考：2008 後期 74.89% 2008 前期 77.66% 2007 後期 76.28% 2007 前期 78.66%）

### 4 調査設計

調査項目の基本構造は前年度までと同じである。

- (1) 学部・学科・回生・コースなどの基本データ
- (2) 授業についての選択項目 16 項目
- (3) 授業についての自由記述 4 項目

基本データおよび選択項目については、マークシートを採用し、データ処理をおこなった。

自由記述は教学向上を目的に、授業担当者に返却した。

## 二 2009 年度前期授業アンケート結果の特徴と傾向

### 1 授業形態別の結果比較

- a. 授業形態別 各ポイントの比較 … 別紙資料 p.1～3

#### 評価ポイントは前年度同時期とほぼ同様

【全体】では「総合」が4.07となり、前年と等しかった。【語学系】ではすべての項目で評価が低下し、「総合」は0.1ポイント低下し、4.03となった。【演習系】では「総合」は4.33と前年と同じであった。【実習・実技系】ではほとんどの項目でポイントが低下し、「総合」も0.12低下し、4.46となった。【実習・実技系】で最も低下した項目は「学習意欲」であった(0.19ポイント)。

- b. 授業形態別「総合」結果の分布 … 別紙資料 p.4

#### 「演習」「語学」で2点台にも分布

「総合」項目の結果を授業形態別の分布では、講義では2点台から5点まで広く分布している。授業数の増加も考慮しなければならないが、近年、特に2点台～3点台前半の講義が増加傾向にある。

演習では多くの科目が4点台以降に分布しており、高い評価を得ているが、一方で2～3点台の科目もある。

語学は2点台から5点までゆるやかに分布している。今回、2点台の科目があった。

実習・実技ではサンプル数が少ないが、総じて高い評価となっている。

- c. 授業形態別・学科ごとの「総合」結果の分布 … 別紙資料 p.5～10

#### 学科ごとに「総合」結果の分布傾向が異なる

学科ごとの「総合」の結果について、授業形態別(講義・演習)の分布では、かなり傾向が異なる。

### 2 外部委託科目の結果

- a. 英語系科目の結果 … 別紙資料 p.11

#### 評価ポイントはほぼ横ばい

ECC派遣教員について、09前期と08前期の結果を比較してみると、各項目について、ほぼ横ばいであったが、「総合」ポイントでは0.1低下し、4.23となった。

ポイントが上昇した項目では「触発」が最高であった(0.18ポイント)。

- b. 情報系科目の結果 … 別紙資料 p.11

#### 前年度と比較して、評価ポイントが大幅に低下

09前期は委託業者を変更したが、「総合」では、0.19～0.35低下した。

評価ポイントは、参考として、①09前期ワークアカデミーと08前期ECCとの比較、②09前期富士通FOMと08前期ECCとの比較を行っている。

### 3 「総合」項目と他の項目との相関関係 … 別紙資料 p.12

#### 演習では傾向が変化

講義、語学、実習・実技の3形態に共通して相関関係が強いのは、「学習目標」「理解」「興味」「触発」である。

他の授業形態と比較すると、語学では特に「意欲」「配慮」「将来」「改善」との相関関係も強いようである。

その他、数値が高い項目が多く、様々な要因が総合的な満足度に強く影響している。

演習では傾向が変化した。08 前期において相関関係が強めであった「明瞭」が 0.19 ポイント、「学習目標」が 0.24 ポイント、「興味」が 0.13 ポイント、「触発」が 0.17 ポイント低下しており、「総合」との相関関係が弱くなっている。相関関係がやや強い項目は「学習意欲」であった。

実習・実技では、「興味」「触発」との係数が 0.93 であり、明確な相関関係が示された。08 前期において相関関係が強めであった「明瞭」が 0.15 ポイント、「意欲」が 0.13 ポイント、「学習意欲」が 0.29 ポイント低下しており、「総合」との相関関係が弱くなっている。

## 4 学科別の集計結果

### a. 学科別・科目別の全体集計 … 別紙資料 p.13~14

#### 全体的に評価ポイントは横ばい

ベーシックスキル（外国語）では、0.2 ポイント近く上昇した項目が多数あり、「総合」でも 0.1 上昇し、4.60 と高い数値であった。

ベーシックスキル（日本語）では、全項目でポイントが大幅に低下したが、「総合」は 4.4 と高い水準にある。

ベーシックスキル（日本語表現）では、全項目でポイントが上昇し、「総合」では 4.04 となった。

ベーシックスキル（数学）では、「理解」0.48 ポイント、「配慮」0.40 ポイントの上昇をはじめ、全項目でポイントが上昇し、「総合」では 4.21 となった。

書道では「自主学习」で 0.27 ポイント上昇し、すべての項目が 4 点台という高い数値となった。

キャリア（全体）では「意欲」で 0.20 ポイント上昇したが、「配慮」0.18 ポイント、「自主学习」0.26 ポイント低下し、総合では 4.3 となった。

文学部研究科では「総合」で 4.3 となり、各項目で高い数値を示した。文化政策研究科では全項目でポイントが上昇し、「総合」では 4.8 となった。しかし、09 前期は 2 科目しかアンケートを実施していないので、来年度以降実施方法を検討する必要がある。看護学研究科では全項目でポイントが低下したが、「総合」では 4.76 と高い水準にある。

### b. 学科別・ゼミ別の集計 … 別紙資料 p.15~18

#### 1~3 回生ゼミのポイントは横ばい。4 回生では上昇

##### 【1 回生演習について】

全学科の「総合」の平均では 4.32 となり、ほとんどの学科が 4.0 以上だったが、英コミで 3.55 と低かった。

英コミではほとんどの科目でポイントが低下し、「自主学习」は 2 点台となった。

日語日文では「配慮」「興味」等で大きくポイントが低下したものの、「私語・環境」や「将来」では数値が上昇した。

文化財では「自主学习」0.34 ポイント、「改善」0.21 ポイントの上昇がみられたが、逆に「授業外学習」では 0.25 ポイントの低下となった。

書道では「授業外学習」「出席」が横ばいであるが、その他の項目は大きくポイントが上昇した。

1 回生演習全体では総合的なポイントは横ばいである。

##### 【2 回生演習について】

全学科の「総合」の平均では 4.35 となり、すべての学科が 4.0 以上だった。

英コミでは「私語・環境」「出席」でポイントが低下したものの、その他の項目では数値が大幅に上昇した。

日語日文ではほとんどの項目でポイントが低下し、「総合」でも 0.25 ポイント低下した。

書道ではすべての項目でポイントが低下したが、数値自体は高い水準にある。

文化財では特に「配慮」(0.41)「授業外学習」(0.25)、「改善」(0.25) で大きめの上昇がみられた。

児童教育ではすべての項目でポイントが低下したが、数値自体は平均的である。

都市環では特に「改善」(0.23)、「自主学习」(0.36) で大きめの上昇がみられた。

看護では「理解」(0.24)、「興味」(0.26)、「触発」(0.21) と低下したが、数値自体は平均的である。

2 回生演習全体では総合的な評価は横ばいである。

### 【3 回生演習について】

全学科の「総合」の平均では 4.42 となり、すべての学科が 4.0 以上だった。  
英コミでは「私語・環境」「理解」0.40 ポイント、「改善」0.36 ポイントをはじめ、ほとんどの項目でポイントが低下し、「総合」では 0.25 ポイント低下した。  
日語日文では「総合」は横ばいであるが、その他はすべての項目でポイントが上昇した。  
歴史は「出席」で 0.13 ポイント低下したが、その他はすべての項目でポイントが上昇した。  
文化政策では「学習意欲」が横ばいであり、「私語・環境」で 0.17 ポイント低下したが、その他はすべての項目でポイントが上昇した。  
現マネは「自主学习」以外の項目のポイントが低下した。0.4 点台の低下も多い。  
3 回生演習全体ではポイントは横ばいである。

### 【4 回生演習について】

全学科の「総合」の平均では 4.60 となり、すべての学科が 4.0 以上だった。  
英コミでは「自主学习」が横ばいであるが、その他はすべての項目でポイントが大きく上昇した。  
歴史では「授業外学習」(0.21)をはじめ、ほとんどの項目でポイントが低下したが、微小な低下が多い。  
文化財では「将来」(0.26)、「出席」(0.20)をはじめ、ほとんどの項目でポイントが上昇した。  
文化政策では全項目のポイントが著しく上昇しており、平均的な数値となった。  
現マネでは「出席」「学習目標」「意欲」「自主学习」が横ばいであるが、その他の項目は上昇している。  
4 回生演習全体ではポイントは上昇。

## 三 基本データ

### 1. 基本データ

以下の 6 項目とした。

①科目名 ②クラス ③学部(院)・学科 ④回生 ⑤コース ⑥科目コード

### 2. 授業についての選択項目

下表の 16 項目について [1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もっともよくあてはまると思うもの一つのみマークさせた。

質問の意図を明確に理解させるために、各項目に[明瞭]などのようにキーワードを設定した。

【A. 教員の授業方法について】	
①教員は、指示や授業内容の説明を、はっきりと聞き取りやすく行った。	[明瞭]
②教員は、この授業の学習目標をわかりやすく示していた。	[学習目標]
③教員は、十分な準備を行い意欲的に授業を進めた。	[意欲]
④教員は、学生が自主的に質問や意見を述べられるよう配慮していた。	[配慮]
⑤教員は、授業外での学習方法(資料・課題など)を示していた。	[授業外学習]
⑥教員は、授業を妨害する私語等を少なくするよう環境を保っていた。	[私語・環境]
⑦この授業の内容は、将来役に立つものであったと思う。	[将来]
⑧この授業で感じた授業方法の問題点は、授業期間中に改善された。	[改善]
【B. あなたの理解状況について】	
⑨私は、この授業で学んだ内容をよく理解することができた。	[理解]
⑩私は、この授業の内容に興味・関心を持つことができた。	[興味]
⑪私は、この授業から新たな問題意識や知的好奇心を刺激されることが多かった。	[触発]
【C. あなたの授業態度について】	
⑫私は、この授業にまじめに出席した。	[出席]
⑬私は、この授業に関して教員の指示に従い熱心に勉強した。	[学習意欲]
⑭私は、教員からの指示以外に、自主的に学習して取り組んだ。	[自主学习]
【D. 総合・その他】	
⑮この授業は総合的にみて、良い授業だったと思いますか。	[総合]
⑯☆各担当教員の自由設定項目	[自由]

### 3. 授業についての自由記述項目

上記 16 項目への選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の 4 つの質問を設定した。

- ①この授業のどの点がよかったですか。
- ②この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③良くなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- ④その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

### 4. 回収・集計方法

(回収) 以下の方法で回収を依頼した。

①アンケート用紙の配布は封筒で行う。②授業内での回収については、基本的に、学生自身がアンケート用紙を封筒へ直接入れるように科目担当者が指示する。その際、回収封筒の場所を指示する又は教室内に封筒を回す、あるいはクラスサイズが大きい場合、適宜、列の一番後ろの学生が回収を行うなどして、学生が直接封筒へ入れるよう指示する。③その際、出席者すべて回収が終わるまで教室から出ないよう指示をする。④提出については、授業終了後、授業担当者が持参して提出する。

(集計) 回収した封筒について、大学で集約し、業者(京都電子計算)へ渡す。①基本データと、②授業についての選択項目を機械(OMR)で読みとり、②については読みとり時に[とてもあてはまる]を 5 点、[まあそう思う]を 4 点、[どちらともいえない]を 3 点、[あまりそう思わない]を 2 点、[全くそう思わない]を 1 点に置き換え、各種分析をおこなっている。授業についての自由記述項目については集計や統計処理は一切おこなっていない。集計後、授業担当教員に担当科目のアンケート結果へのコメントや受講者へのメッセージを依頼した。

### 5 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

#### 回生別回収率

	全受講登録者	1回生	2回生	3回生	4回生	大学院生	回生不明
登録者数	30374	10613	10530	7045	1914	98	174
有効回答数	23608	9007	7871	4951	1125	185	469
有効回収率	77.72%	84.87%	74.75%	70.28%	58.78%	188.78%	269.54%

(参考: 2008 後期 74.89% 2008 前期 77.66% 2007 年後期 76.28% 2007 前期 78.66%)

\*有効回答数=登録者数 - 欠席者

\*有効回収率=有効回答数/登録者数

\*2006 年度以降は、以下のように集計方法を改善したため、回収データ中の無効(不明)データは 0 である。

1) 読みとり方式を OCR から OMR に変更し読み取り精度を高めた。

2) 科目コードと所属を、マークに加えて科目ごとに袋で管理し無効(不明)データを無くした。

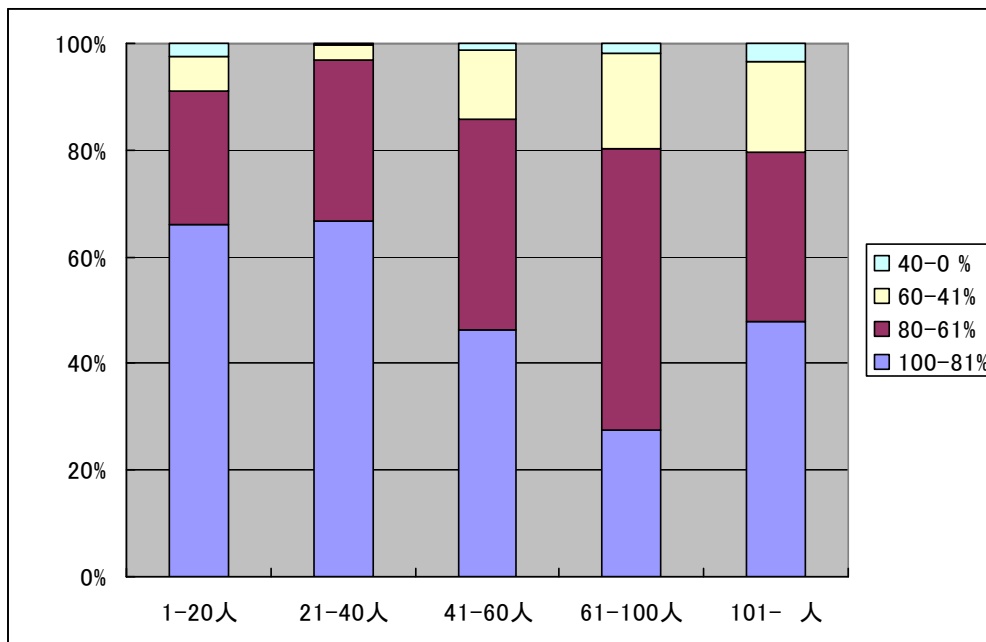
#### 所属別回収率

	英コミ	日文	歴史	文化財	児童	現マネ	文政	看護
登録者数	1965	3339	4362	2184	4219	5114	4846	4073
有効回答数	1448	2587	3592	1702	3464	3460	3268	3537
有効回収率	73.69%	77.48%	82.35%	77.93%	82.1%	67.66%	67.44%	86.84%
	院文	院政	院看護	学科不明				
登録者数	68	9	21	174				
有効回答数	55	36	117	342				
有効回収率	80.88%	400%	557.14%	196.55%				

児童教育・看護の回収率が高く、現マネ・都市環境デザイン(文化政策)の回収率がやや低めであった。

## クラスサイズ別回収率

回収率 クラスサイズ	回収率				合計
	100-81%	80-61%	60-41%	40-0%	
1-20人	141	53	14	5	213
21-40人	167	76	7	1	251
41-60人	42	36	12	1	91
61-100人	14	27	9	1	51
101-人	42	28	15	3	88
計	406	220	57	11	694



## 6. 教員による⑩自由設定項目の利用状況

利用率は 4.0% と低い数値だった。

33 科目 / 829 科目 (自由設定項目の利用科目数 / アンケート実施全科目数)

\* 2008 年後期 8.2% 2008 年前期 5.6% 2007 年後期 6.1% 2007 年前期 3.5%

以上